



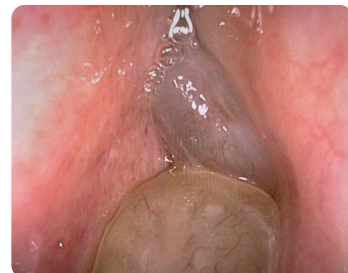
おやこあら新聞

好酸球性副鼻腔炎



有名ユーチューバーのHIKAKINさんが、“難病の副鼻腔炎で手術を受けたこと”を公表しましたが、皆さんは“副鼻腔炎”にどのようなイメージをお持ちでしょうか？

古代ローマ帝国の医師であるケルサスは“長く鼻や骨に潰瘍が生じ、悪臭が続く病気”として世界で初めて副鼻腔炎の症状を書物に記載しました。従来は膿が鼻の周囲に溜まるいわゆる“蓄膿症(副鼻腔炎)＝臭い汚い黄色い鼻水を垂らしている、慢性で治りにくい鼻詰まりや頭痛”のイメージでしたが、同じ副鼻腔の炎症でも全く新しいタイプの副鼻腔炎の概念があるのをご存知でしょうか？



好酸球性副鼻腔炎の鼻腔ポリープ

実は以前から副鼻腔炎の中に、感染を伴わず鼻茸が充満して非常に治りの悪い副鼻腔炎があることが知られていました。しかし原因がわからず、一般的な副鼻腔炎と同様の手術を繰り返し丁寧に行っても、この手の副鼻腔炎はポリープ再発を繰り返し頭痛・嗅覚障害・鼻詰まりなどで患者さんを苦しめてきたのです。ちょうど私が医者になった2000年前後に、この手の鼻腔ポリープ(鼻茸)の粘膜に大量の好酸球が存在することが発見され、“好酸球性副鼻腔炎”という新しい病名が医学会でクローズアップされたのです。今回は難病指定であり、通常の副鼻腔炎とは異なる扱いを要する好酸球性副鼻腔炎のお話しです。

＜ JESREC studyによる好酸球性副鼻腔炎の診断基準 ＞

項目	スコア	血中好酸球数(%)	スコア
病側:両側	3点	$2 < \leq 5$	4点
鼻茸	2点	$5 < \leq 10$	8点
篩骨洞陰影優位	2点	$10 <$	10点

- スコア合計が11点以上
 - 鼻ポリープ中好酸球数 ≥ 70 個 / 400倍視野
- 上記2つの条件を満たす場合、好酸球性副鼻腔炎と診断。

＜ 重症度分類 ＞

A項目	B項目
● 血中好酸球数が5%以上 ● CTにて篩骨洞優位陰影	● 気管支喘息 ● アスピリン喘息 ● NSAIDアレルギー

診断基準JESRECスコア11点以上であり、かつ

- | | | | |
|-------------|---|---------------|-------|
| A項目 陽性1項目以下 | + | B項目 合併なし | → 軽症 |
| A項目 とともに陽性 | + | B項目 合併なし | → 中等症 |
| A項目 陽性1項目以下 | + | B項目 いずれかの合併あり | → 中等症 |
| A項目 とともに陽性 | + | B項目 いずれかの合併あり | → 重症 |

中等症以上または好酸球性中耳炎を合併していれば、難病の認定となります。

Q1 好酸球って何ですか？

A1 好酸球(こうさんきゅう)は、白血球の一種で、体の中でアレルギー反応や炎症に関わる免疫の細胞です。細胞の中には、酸性の色素に染まりやすい顆粒が含まれており、顕微鏡で見ると赤っぽく見えるのが特徴です。もともとは体を守る役割をしていますが、増えすぎると自分の体に炎症を起こしてしまうことがあります。好酸球性副鼻腔炎では、この好酸球が副鼻腔に集まり、炎症を起こして鼻詰まりや鼻水などの症状の原因になります。

Q2 好酸球性副鼻腔炎は遺伝しますか？体質は関係しますか？

A2 好酸球性副鼻腔炎が「遺伝する」とははっきり言われているわけではありません。ただし、アレルギー体質や喘息がある方は発症しやすい傾向があり、体質(免疫のはたらき方)や生活環境が関係していると考えられています。この病気は、「2型炎症」と呼ばれる、アレルギーや好酸球に関わるタイプの免疫反応が原因で起こります。気管支喘息も同じ「2型炎症」に分類されるため、両方の病気が一緒に起こることがよくあります。

Q3 診断するために必要な検査には、どのようなものがありますか？

A3 鼻腔ファイバースコープ検査、副鼻腔のCT検査、血液検査などを行い、「鼻の中にポリープがある」「CTで篩骨洞(しこつどう)という目の横にある副鼻腔の炎症が強い」「血液中の好酸球の値が高い」といった特徴を持つ方は、好酸球性副鼻腔炎が疑われます。診断を確定するためには、鼻のポリープの組織をとって、病理組織学検査によって、組織の中の好酸球の数が基準を超えた場合に、『好酸球性副鼻腔炎』と診断されます。

Q4 好酸球性副鼻腔炎は治りますか？

A4 好酸球性副鼻腔炎には、従来の慢性副鼻腔炎(いわゆる蓄膿症)でよく使われるマクロライド系抗生物質の少量長期服用は、あまり効果がないことが多いです。ステロイドの内服は効果的ですが、副作用が大きいため、長期間続けることはおすすめできません。抗アレルギー薬や漢方薬、ステロイドの点鼻薬などを使っても十分に改善しない場合は、手術を行うことがあります。手術によって鼻詰まりや嗅覚が改善し、再発しない方もいますが、残念ながら症状が再び出てくることも少なくありません。

そのため、手術後も毎日の点鼻薬や、必要に応じて内服薬を継続しながら、定期的に経過をみていくことが大切です。症状が強い場合には、「生物学的製剤」と呼ばれる新しいタイプの注射薬を使う治療が行われることもあります。当院では、好酸球性副鼻腔炎に対して定期的なフォローを行い、生物学的製剤が必要な場合にはその治療にも対応しています。

Q5 難病指定は全員が受けられるのですか？

A5 好酸球性副鼻腔炎は国の指定難病です(指定番号306)。よって認定基準を満たした患者さんは県に申請することで難病指定を受け医療費の補助が受けられますが、難病指定は好酸球性副鼻腔炎の全員の患者さんが許可を受けられるわけではありません。

摘出した鼻ポリープ組織中の好酸球の数値や、CT所見、末梢好酸球数、喘息や好酸球性中耳炎の合併の有無で指定可能かが決まりますので、詳しくは医師にご確認ください。

通常の治療であれば難病指定を受けなくても治療できますが、生物学的製剤(抗体製剤)などの高額治療を継続する場合には難病指定が望ましいと考えられます。

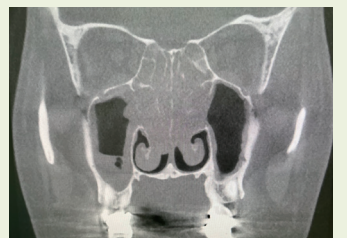
先生からのひとことアドバイス ～CTの紹介～

Q3でも解説したように、好酸球性副鼻腔炎の診断基準には“CTで両方の篩骨洞に強い炎症性病変を認めること”というものがあり、この病変はレントゲンでははっきりしないため診断にはCTが必須です。当院はモリタ社の高解像度CTを完備しています。



当院のCTは「コーンビームCT」と言って、回転しながら撮影するため以下の特徴があります。

- 低被曝である(通常のCTの10分の1以下の照射量です。)
- 高解像度である(副鼻腔の詳細な隔壁(骨の壁)の描出に優れています。)
- 撮影が短時間である(回転して連続撮影を再構成するため、数十秒と撮影時間が短いです。)
- 経時的比較が簡単である(画像ファイルで以前の状態と比較できます。)



♡ “キニナル” おやこあらのミニコラム ♡

当院おなじみのオリジナルキャラクターであるお母さんコアラとこどもコアラの「おやこあら」がLINEスタンプ(¥120)にあるのをご存知ですか?「おだいじに」などクリニックならではのスタンプや日常会話のやり取りで気軽に使えるスタンプの種類も豊富にそろっています。また、LINEスタンプ以外にも受診の際にお子さんにお渡ししてる“おやこあらシール”も15種類に増えました!ぜひみなさんチェックしてみてくださいね～♪



★編集後記★ 鼻詰まりが続いていて息苦しいのにどうにもできない、においもわかりづらいし、口呼吸になって喉も痛めがち…せっかく治ったと思ってもまたなつてを繰り返して、病院も転々として…でも結局治らなくて…。そんなずっと辛い思いをされている患者さん、もしかしたら好酸球性副鼻腔炎かも?この治りづらい病気を少しでも知っていただくことで自分はどうかかな?と思って頂けたらいいなと思っています。

なんで鼻詰まりが治らないの?自分の鼻どうなってるの?と思い続けるより、この鼻詰まりが何なのか知りたいですよね。まずは自分では見れない鼻の中を診てもらいましょう!闇雲に薬を飲んだり、諦めたりせず、自分で自分の鼻の中の状態を知ることがまずは大切な一歩です!薬で治るものなのか、飲んでも治らないものなのか…自分の鼻のことを知り、一緒に悩みを改善できるようお手伝いをしていければと思っています。

 しらつち耳鼻咽喉科

ここよはないな
TEL:092-554-8717

〒811-1344 福岡市南区三宅3丁目16-26

<https://shirajibi.com>



診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30 (最終受付 12:00)	●	●	●	●	●	★	—
14:00～18:00 (最終受付 17:30)	●	★	—	●	●	—	—

★は2診体制で診療を行っています。

休診 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

